

エコプラン平成27年度実績報告書

1. 温室効果ガス排出量算定結果

(1) 温室効果ガスの排出削減目標

佐世保市では、市役所自らの事務事業によって排出される温室効果ガスを削減するため、「佐世保市役所エコプラン」（以下、エコプランという。）を策定し、地球温暖化防止に向けて取り組みを進めています。

エコプランでは、平成25年度から平成29年度までの5年間の計画期間とし、平成29年度における排出量を、平成22年度比で6%削減することを目標としています。温室効果ガス排出量が多い施設を有する事業ごとに部門別削減目標を設定し、エコプランの進捗管理は佐世保市環境マネジメントシステムで行っています。

エコプランの取組の基本的方針（「1 省エネ行動の実践」、「2 施設における省エネルギー化の推進」、「3 環境負荷の少ないエネルギーの利用推進」、「4 公用車における省エネルギー化の推進」、「5 ごみの減量化、資源化の促進」、「6 その他（事務用紙使用量の抑制や節水、グリーン調達の推進等）」）に基づく活動とあわせて、「環境法規制の順守」や「公共工事の環境配慮」を対象とし、PDCAサイクルを活用した取り組みを行い、継続的改善を図ることで、市役所全体の目標達成を目指しています。

(2) 平成27年度における温室効果ガス排出量

平成27年度における温室効果ガス排出量は、CO₂換算で72,988,998kg-CO₂でした。基準年度（平成22年度）における温室効果ガス排出量に比べ16.70%減少しました。

【部門別の排出量（平成27年度）】

部門	対象施設等		H22年度排出量(kg-CO ₂)	H27年度排出量(kg-CO ₂)	増減率
事務	事業部門以外(交通を含む)		16,152,314	13,383,754	-17.14%
事業	ごみ処理	環境部 施設課、西部CC、西部CC浸出水、西部CC資源化、西部CC灰溶融、東部CC、宇久環境センター、宇久清掃センター、宇久一般廃棄物最終処分	53,784,099	45,319,539	-15.74%
	し尿処理	環境部 クリーンピュアとどろき宇久衛生センター	2,889,134	2,707,289	-6.29%
	水道	水道局 水道事業(東部管理グループ含む)、北部管理事務所、宇久営業所、水道施設課、山の田浄水場、大野浄水場、柚木浄水場、広田浄水場	5,875,775	4,907,849	-16.47%
	下水道	水道局 下水道事業課、下水道施設課・水質管理センター、下水処理課(施設使用分)	4,204,170	1,813,623	-56.86%
	病院	総合病院 総務課、経営企画課、財務課、看護専門学校	4,714,071	4,856,944	3.03%
合計			87,619,563	72,988,998	-16.70%

温室効果ガス種類別割合では二酸化炭素が96.41%と大半を占めており、排出原因では廃プラスチックの焼却によるものが49.18%、電気の使用によるものが34.22%を占めています。

排出量が減少した主な理由は、ごみ処理部門における廃プラスチックの焼却量が減少したことや、下水道部門や事務部門における複数施設が指定管理等へ移行されたことにより、エコプランの対象外となったことがあげられます。なお、27年度に指定管理等によりエコプランの対象外となった施設について、それらを含めた場合、基準年度（平成22年度）比12.61%の減少となります。

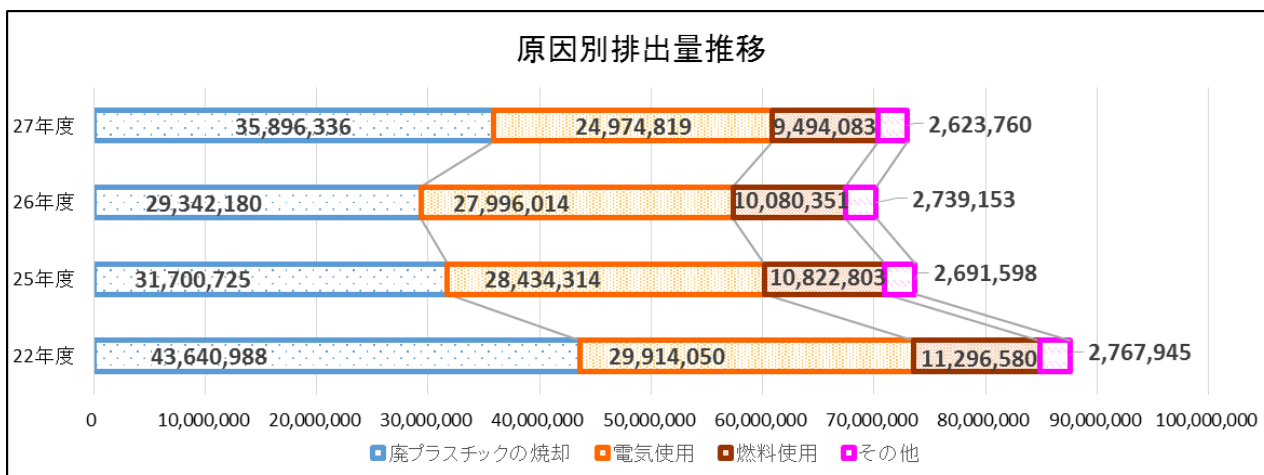
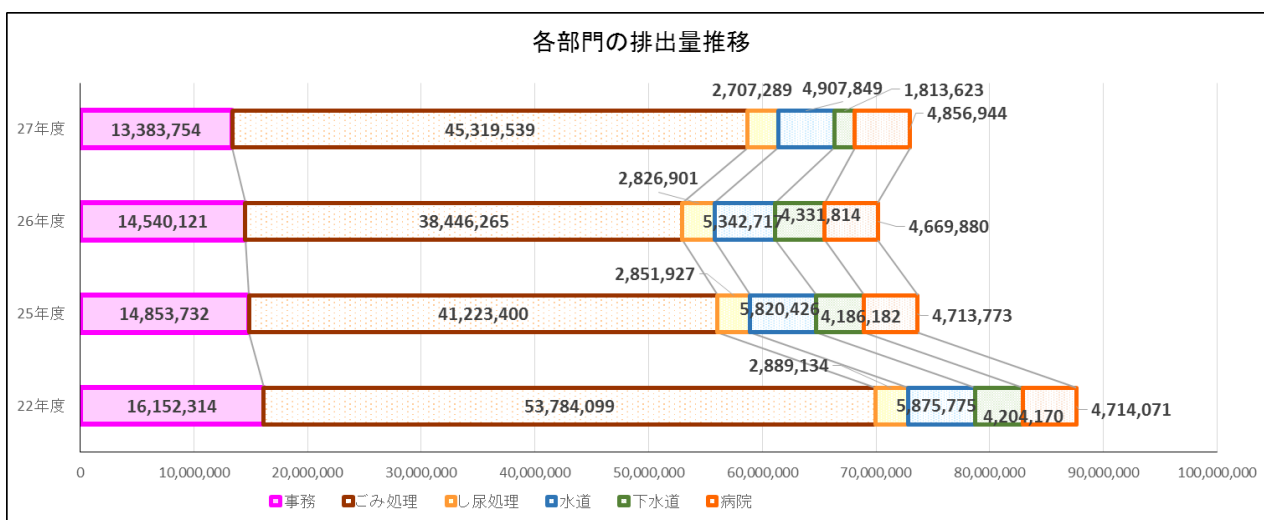
【温室効果ガス別内訳（平成27年度）】

温室効果ガス名	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
二酸化炭素	70,365,238	96.41
一酸化二窒素	2,241,610	3.07
メタン	376,950	0.52
ハイドロフルオロカーボン	5,200	0.01

【排出原因による内訳（平成27年度）】

排出原因	排出量 (kg-CO ₂)	構成比 (%)
廃プラスチックの焼却によるもの	35,896,336	49.18
電気の使用	24,974,819	34.22
燃料の使用	9,494,083	13.01
その他	2,623,760	3.59

(3) 年度における温室効果ガス排出量の推移



2. エネルギー使用量等実績

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。全課かいで、エネルギー7項目（電気・ガソリン・軽油・A重油・灯油・都市ガス・LPG）の使用量、事務用紙使用量、水道使用量、可燃ごみ排出量の削減に取り組みました。

（1）目標値の設定について

エコプランにおいては、ガソリンを除く各エネルギー使用量の削減目標を部門毎（事務系、ごみ処理事業、し尿処理事業、水道事業、下水道事業、病院事業）に、ガソリン、事務用紙、水道、可燃ごみの削減目標を、共通で設定しています。

（2）平成27年度結果

取り組み結果は以下のとおりとなっています。下記の10項目のうち7項目（電気使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、A重油使用量、都市ガス使用量、LPG使用量、水道使用量）において順調に削減できています。灯油使用量については、基準年と比べ削減できているものの、温室効果ガス削減のためのロードマップ（目標年までに削減しなければならない割合を計画期間で平均的に削減を進めた場合の例）に示す削減割合の達成には至っていません。使用量が増加した項目のうち、事務用紙使用量については、制度改正や業務による印刷物、資料作成が主な要因で増加しました。また、可燃ごみ排出量は、佐世保市学校給食センターの新設が主な要因で増加しました。

【総括 各エネルギー使用量等の削減割合】

総括	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度	
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)
電気使用量(Kwh)	77,698,839	72,716,926	-6.41%	64,869,667	-16.51%
ガソリン使用量(L)	287,703	279,823	-2.74%	241,032	-16.22%
軽油使用量(L)	1,570,817	1,465,697	-6.69%	1,273,258	-18.94%
A重油使用量(L)	578,824	421,300	-27.21%	399,763	-30.94%
灯油使用量(L)	782,433	727,348	-7.04%	761,292	-2.70%
都市ガス使用量(m ³)	1,115,032	970,338	-12.98%	976,335	-12.44%
LPG使用量(kg)	164,988	155,024	-6.04%	141,781	-14.07%
事務用紙使用量(枚)	27,367,137	28,550,995	4.33%	29,082,836	6.27%
水道使用量(m ³)	316,684	340,583	7.55%	304,880	-3.73%
可燃ごみ排出量(kg)	63,297	152,190	140.44%	70,546	11.45%

【部門毎の各エネルギー使用量等の削減割合】

事務系	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	22,162,894	19,570,829	-11.70%	18,655,311	-15.83%	-5.00%
ガソリン	287,703	279,823	-2.74%	241,032	-16.22%	-5.00%
軽油	1,553,627	1,446,949	-6.87%	1,259,752	-18.92%	-5.00%
A重油	257,694	208,160	-19.22%	168,160	-34.74%	-5.00%
灯油	277,783	279,136	0.49%	270,185	-2.74%	-5.00%
都市ガス	436,533	366,820	-15.97%	343,675	-21.27%	-5.00%
LPG	158,367	151,122	-4.57%	138,148	-12.77%	-5.00%

ごみ処理事業	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	17,861,844	16,072,034	-10.02%	16,541,474	-7.39%	-10.70%
軽油	17,120	17,953	4.87%	13,264	-22.53%	-10.70%
A重油	164,400	114,600	-30.29%	134,800	-18.00%	-10.70%
灯油	502,257	447,252	-10.95%	489,751	-2.49%	-10.70%
LPG	2,961	1,000	-66.23%	1,249	-57.83%	-10.70%

し尿処理事業	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	7,137,732	7,001,304	-1.91%	6,670,512	-6.55%	-5.50%
灯油	1,000	160	-84.00%	140	-86.00%	-5.50%
LPG	642	214	-66.67%	213	-66.89%	-5.50%

水道事業	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	15,249,260	13,869,859	-9.05%	12,743,564	-16.43%	-5.00%
軽油	0	618	22年度使用なし	190	22年度使用なし	-5.00%
灯油	1,000	200	-80.00%	390	-61.00%	-5.00%
都市ガス	354	50	-85.88%	0	-100.00%	-5.00%
LPG	502	205	-59.16%	39	-92.27%	-5.00%

下水道事業	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	8,195,096	8,370,513	2.14%	2,113,045	-74.22%	-7.00%
軽油	70	170	142.86%	53	-24.71%	-7.00%
A重油	2,730	2,540	-6.96%	803	-70.57%	-7.00%
灯油	393	600	52.67%	790	101.02%	-7.00%
LPG	325	397	22.15%	313	-3.54%	-7.00%

病院事業	基準年度使用量 (22年度)	26年度		27年度		目標年度 (H29)
		使用量	増減率 (22年度比)	使用量	増減率 (22年度比)	
電気	7,092,013	7,832,387	10.44%	8,145,761	14.86%	-5.00%
軽油	0	7	22年度使用なし	0	22年度使用なし	-5.00%
A重油	154,000	96,000	-37.66%	96,000	-37.66%	-5.00%
灯油	0	0	22年度使用なし	36	22年度使用なし	-5.00%
都市ガス	678,145	603,468	-11.01%	632,660	-6.71%	-5.00%
LPG	2,191	2,086	-4.79%	1,820	-16.93%	-5.00%

3. 環境活動の取組目標の達成状況

温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、エコプランの取組方針に基づき、各課かいにおいて、取組目標を設定し、環境活動を実施しました。平成27年度の取組目標における、部局内各課の達成状況の評価の詳細は、別紙のとおりとなります。

(1) 省エネ行動

「冷暖房機器・OA機器の適正管理」について、不十分と評価した部局が、1割程度ありました。「業務の効率化、労働時間の短縮」については、不十分と評価した部局が2割程度ありましたが、業務の都合上やむを得ないこともあります。総体的には、概ね実施されていました。

(2) 施設における省エネルギー化

「高効率な設備機器の優先導入」、「建築物の省エネルギー化の推進」について、不十分と評価した部局が3割程度ありました。「設備機器の効率的な運転管理」については、不十分と評価した部局が2割程度ありました。

(3) 環境負荷の少ないエネルギー利用

実施できなかった部局もありましたが、「再生可能エネルギーの率先導入」について、4部局において検討されていました。

(4) 公用車における省エネルギー化

「エコドライブの徹底」、「効率的な運行管理」については、対象とする部局で概ね実施されていました。「低燃費車の導入」については、不十分と評価した部局が4割程度ありました。

(5) その他

「事務用紙使用量の抑制」については、2割程度の部局が、「廃棄物の削減、リサイクルの推進」については、1割程度の部局が不十分と評価しました。「ノーマイカーデーの実施」については、不十分と評価した部局が4割程度ありましたが、交通の利便性や子どもの送迎等、やむを得ないこともあります。「イベント等における環境配慮」については、対象とする部局で概ね実施されており、「節水」、「グリーン調達の推進」については、全部局で概ね実施されていました。

(6) 環境法規制等の順守

ほとんどの部局で遵守されています。一部部局において遵守漏れがありましたが、すでに対応済みです。

(7) 公共工事の環境配慮

対象とするすべての部局で実施できていました。

4. 研修

適切なEMSの推進を目的とし、職員の環境マネジメントシステムに関する理解を深めるため、下記の研修会を実施しました。

・ 新人職員研修

(日時) 6月10日(水)

(対象) 新人職員(受講者 52名)

(内容等) 市役所における地球温暖化対策への取り組みについて

・ 課長、EMS 実行委員研修

(日時) 5月19日(火)(受講者 231名)

(対象) 各課長及びEMS 環境実行委員

(内容等) 環境問題の現状、概要、運用のポイント 等

・ 内部環境監査員養成研修

(日時) 11月11日(火)

(対象) 環境保全課計画係職員(受講者 7名)

(内容等) 環境基礎講義、内部監査の手順、内部監査のポイント、ケーススタディ演習 等

5. 平成27年度内部環境監査実施結果

(1) 監査実施日

平成27年6月5日(金)及び平成27年11月25日(水)～平成28年2月18日(木)

(2) 監査対象課かい

被監査部門 44課かい

企画部	小佐々分室
総務部	秘書課、東京事務所
財務部	納税課
農水商工部	農業畜産課、水産センター
都市整備部	公園緑地課
土木部	土木政策管理課
市民生活部	市民生活課、戸籍住民課、早岐支所、中里皆瀬支所、柚木支所、針尾支所、宮支所、吉井支所、小佐々支所
保健福祉部	長寿社会課、健康づくり課、西部芳世苑、食肉衛生検査所
子ども未来部	子ども子育て応援センター、子ども発達センター

環境部	廃棄物減量推進課
消防局	東消防署
水道局	財務課、水源対策・企画課、水道整備課
総合病院	財務課
教育委員会	総合教育センター、図書館、中央公民館、西地区公民館、北地区公民館、九十九地区公民館、早岐地区公民館、中里皆瀬地区公民館、柚木地区公民館、針尾地区公民館、宮地区公民館、吉井地区公民館、小佐々地区公民館、江迎地区公民館、青少年教育センター、市民会館

環境法規制の該当がある施設、機構改革や庁舎移転のあった施設、その他事務局において、現在の取組状況や業務における環境への影響等を勘案し、監査する必要があると判断した課かいを対象としました。

(3) 監査チーム

内部環境監査員9名により28チームを編成（1チームあたり2名）

(4) 監査の内容

佐世保市環境マネジメントシステムとの適合状況や日々の取組状況等について確認しました。監査チームは、主に以下の項目について監査を実施しました。

監査項目	主な点検内容
a. 省エネ省資源行動	省エネ省資源行動等について、取組目標が適切に設定され、効果的に実施されているか
b. 環境投資	設備機器の省エネ化や環境負荷の少ないエネルギー利用等が検討・実施されているか
c. 環境法規制等	適用を受ける法規制等が順守されているか
d. 公共工事の環境配慮	点検マニュアルの対象工事について、点検が適切に実施されているか
e. 取組状況の評価	取組状況の確認や評価が適切に実施されているか
f. 是正対応	課題に対して適切な是正が実施されているか
g. 研修の実施	適切に職場研修が実施されているか 理解度は十分か

(5) 監査結果

優秀事項 2件

要改善事項 28件

「優秀」事項の内容

〈市民生活課〉

町内会が維持管理している防犯灯を、LED防犯灯に変更する場合に、1灯あたり4,500円を上限に補助しています(平成24年度～平成28年度)。

現在、市内の全防犯灯約21,000灯の内、約16,000灯がLED防犯灯に切り替わっています。

全防犯灯に実施された場合、従来から実施している防犯灯維持費補助金(電気代の実費補助)の削減分で、LED化への補助額分を補てんできる見込みであり、省電力かつ長寿命のLED照明への変更を促すことで、財政面だけでなく、結果として環境にも配慮した取組につながっています。本来業務における環境投資の模範的な取り組みです。

《総合教育センター》

デマンド計を平成26年度に電気設備保守点検の委託契約に含めて導入し、施設利用者が年々増加しているにもかかわらず、電気使用量は前年度より減少する等の効果を上げています。

また、随時表示される電力使用量を確認することで、職員の節電意識の向上に寄与する等デマンド計設置による電気使用量の見える化は模範となる取り組みです。

「要改善」事項の内容

a. 省エネ省資源行動

実施困難な目標を設定していた課かいや、課内で取り組んでいない事項を目標に設定している課かいはありました。設定した目標に基づく取り組みが行われていない課かいはありました。各課の日常業務で取組可能なものを目標に設定し、設定した目標の周知及び遵守を行う必要があります。

b. 環境投資

要改善の指摘はありませんでした。

c. 環境法規制等

フロン排出抑制法に係る対象機器の特定や簡易点検の実施、記録簿の作成・保管等について遵守できていない事例が散見されました。

他には、駐車場のアイドリングストップ周知の掲示、産業廃棄物の保管場所の明示がされていない事例もありました。

d. 公共工事の環境配慮

要改善の指摘はありませんでした。

e. 取組状況の評価

実施状況及び課長評価の記載内容について、前年度に報告した内容を踏襲していた課かいはありました。また、取組目標に対する評価と現状が一致していない事例が散見されました。事務局で作成している「取組状況確認シート」を活用する等、各課において取組状況を確認する体制を整える必要があります。また、取り組みの評価の際は、集計システムを利用し、使用状況を踏まえたうえで、その取組内容が十分なものであったかを判断する必要があります。

f. 是正対応

取組目標に対する評価が「×」であったが、是正計画を立てていない、または、是正計画は立てていたが、実施していない事例がありました。過去の取り組みを振り返り、是正計画を立て、継続的に改善していくというEMSの仕組みを今一度し、再発防止に努める必要があります。

g. 研修の実施

一般職員に対して職場研修を実施していたものの、嘱託職員には実施していませんでした。職場研修は課内全員(臨時・嘱託職員含む)に対して行う必要があります。

改善措置等

監査においては、22課かいいおいて28件の「要改善」の判定がありました。「要改善」の指摘

事項に対しては、監査対象課から適切な改善措置の実施、もしくは、改善計画が出されています。

(6) まとめ（監査結果を踏まえ）

監査においては、各課の環境活動の実施状況やEMSの運用状況等を確認しました。半数の課かいにおいて、「要改善」の判定がありましたが、監査での指摘を受け、EMSの適切な運用を行うよう改善できました。

内部監査において「要改善」の判定を受けた事項は、今回監査を受けていない課かいにおいても起こりうる可能性があり、事務局としては、同様の事項が発生しないよう、今回の監査内容について職員へ周知し、再発防止に努めています。また、優秀な取り組みを職員へ紹介し、より一層のEMSの推進に努めています。

6. 平成27年度実績における評価

平成27年度温室効果ガス排出量は、基準年度に比べて大幅に削減できておりますが、廃プラスチック焼却量の減少が主な要因であり、部門別に見ると、基準年度より使用量が増加した部門もあるため、今後も引き続き、取り組みを推進していく必要があります。

各部局における取組目標の達成状況については、「再生可能エネルギーの導入」、「低燃費車の導入」等の率先的な取組方針、「業務の効率化、労働時間の短縮」、「事務用紙使用量の抑制」、「ノーマイカーデーの実施」に対する取組目標について、不十分だと評価した部局が散見されました。総体的には、各部局における取組目標は概ね実施されており、不十分だと評価した取組目標についても、実施内容の見直しが検討されています。

職員の日々の取り組みによる削減には限界があるため、さらに、推進するうえで必要となる施設改修や設備・機器の導入等に当たっては、各課において、積極的に情報収集や検討を行い、エネルギー使用量の削減や温室効果ガスの削減効果を考慮しながら、財政面での確保に努めることとします。事務局としても、市有施設の省エネ診断等を行うことで、各課へ積極的に省エネ設備導入の情報を提供していきます。

また、研修や内部監査を実施することにより、システムの継続的な改善を図っていきます。

各部署における環境活動の取組目標の達成状況(「(様式3) 部署環境活動総括シート」の集約)

部署名	区分	省エネ行動					施設における省エネルギー化			環境負荷の少ないエネルギー利用		公用車における省エネルギー化			その他						環境法規制等の遵守	公共工事の環境配慮
		冷暖房機器の適正管理	照明機器の適正管理	OA機器の適正管理	その他機器の適正管理、利用	業務の効率化、労働時間の短縮	高効率な設備機器の優先導入	設備機器の効率的な運転管理	建築物の省エネルギー化の推進	再生可能エネルギーの優先導入	ごみ焼却施設等から発生する余熱の有効利用	エコドライブの徹底	効率的な運行管理	低燃費車の導入	事務用紙使用量の抑制	節水	廃棄物の削減、リサイクルの推進	グリーン調達の推進	ノーマイカーデーの実施	イベント等における環境配慮		
基地政策局	達成度	100	100	100	100	90	—	—	—	—	—	80	100	—	100	100	—	100	80	—	—	—
	区分の平均	98					—			—		90			95						—	—
行財政改革推進局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	80	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		100			96						—	—
企業立地推進局	達成度	50	100	80	100	80	—	—	—	—	—	100	100	100	90	100	100	100	80	—	100	—
	区分の平均	82					—			—		100			94						—	—
観光物産振興局	達成度	100	100	80	80	0	—	—	—	—	—	—	100	—	80	80	40	80	80	80	—	—
	区分の平均	72					—			—		100			73						—	—
防災危機管理局	達成度	100	100	100	100	80	—	—	—	—	—	100	100	—	100	100	100	90	40	100	—	—
	区分の平均	96					—			—		100			88						—	—
契約監理室	達成度	100	95	90	100	95	—	—	—	—	—	100	100	—	90	100	100	100	80	100	100	—
	区分の平均	96					—			—		100			95						—	—
企画部	達成度	100	99	95	94	86	80	100	80	100	100	98	97	97	91	99	95	98	93	97	100	—
	区分の平均	95					87			100		97			96						—	—
総務部	達成度	97	97	90	95	88	—	—	—	—	—	87	100	80	93	100	98	95	88	—	—	—
	区分の平均	93					—			—		89			95						—	—
財務部	達成度	100	96	90	92	80	100	100	100	100	—	95	100	60	50	96	98	100	24	—	100	—
	区分の平均	92					100			100		85			74						—	—
農水商工部	達成度	100	100	91	94	80	88	97	80	40	—	96	98	93	85	98	89	95	79	97	100	—
	区分の平均	93					88			40		96			91						—	—
都市整備部	達成度	100	100	91	94	84	100	—	100	—	—	97	99	40	89	97	97	93	71	100	100	100
	区分の平均	94					100			—		79			91						—	—
土木部	達成度	100	85	98	100	80	—	—	—	—	—	89	95	100	100	91	83	86	60	80	100	100
	区分の平均	93					—			—		95			83						—	—
港湾部	達成度	90	80	100	100	80	80	100	80	—	—	90	90	80	90	100	90	100	85	80	100	100
	区分の平均	90					87			—		87			91						—	—
市民生活部	達成度	94	97	91	97	88	77	99	93	—	—	95	97	84	90	97	96	96	77	90	93	—
	区分の平均	93					90			—		92			91						—	—
保健福祉部	達成度	99	98	82	91	75	90	82	87	—	—	90	93	65	72	95	95	96	62	85	90	100
	区分の平均	89					86			—		83			84						—	—
子ども未来部	達成度	92	92	88	87	55	—	90	—	—	—	85	88	50	70	88	88	90	73	83	100	—
	区分の平均	83					90			—		74			82						—	—
環境部	達成度	99	96	89	88	92	70	78	93	100	90	96	84	80	75	89	87	97	82	98	100	—
	区分の平均	93					80			95		87			88						—	—
会計管理室	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	—	100	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	100					—			—		100			100						—	—
消防局	達成度	96	97	84	98	95	80	96	97	—	—	95	98	45	89	94	97	95	67	94	100	—
	区分の平均	94					91			—		79			89						—	—
交通局	達成度	90	100	85	90	40	40	70	100	—	—	90	90	0	90	100	100	100	80	80	100	—
	区分の平均	81					70			—		60			92						—	—
水道局	達成度	97	95	87	93	87	91	93	93	100	—	96	96	88	85	96	92	96	71	100	100	100
	区分の平均	92					92			100		93			90						—	—
総合病院	達成度	88	90	75	90	53	100	100	100	0	—	95	98	—	70	73	70	95	73	100	100	—
	区分の平均	79					100			0		97			80						—	—
教育委員会	達成度	90	96	87	96	92	79	94	83	57	100	95	97	70	91	94	94	97	74	90	99	100
	区分の平均	92					85			79		87			90						—	—
議会事務局	達成度	100	100	80	80	80	—	—	—	—	—	100	80	80	90	100	100	100	80	—	—	—
	区分の平均	88					—			—		87			94						—	—
選挙管理委員会事務局	達成度	100	100	100	80	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	96					—			—		—			100						—	—
監査事務局	達成度	100	100	100	90	100	—	—	—	—	—	—	—	—	100	100	100	100	100	—	—	—
	区分の平均	98					—			—		—			100						—	—
農業委員会事務局	達成度	100	100	100	100	100	—	—	—	—	—	80	100	—	100	80	100	80	90	80	—	—
	区分の平均	100					—			—		90			88						—	—